

令和6年度第2回横浜市市民協働推進センター事業部会 会議録											
日 時	令和7年2月20日(木) 13時00分から16時45分まで										
開催場所	横浜市市民協働推進センター スペースA B										
出席委員	田辺由美子部会長、菊池賢児委員、永岡鉄平専門委員、吉武美保子専門委員										
欠席委員	齊藤ゆか委員										
開催形態	一部非公開（傍聴者0）										
議 題	議題1：市民協働提案事業の審査について 議題2：市民協働提案事業（行政によるテーマ設定型）試行実施の評価について										
議事・決定事項	<p>1 開会 2 前回会議録の確認 3 議題</p> <p>議題1：市民協働提案事業の審査について【非公開】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>提案事業名</th><th>点数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yokohama 'Pride' Circulation</td><td>65.50</td></tr> <tr> <td>特殊詐欺防犯啓発イベント「だまされないプロになろう！～横浜市全18区実施～」金沢区・港北区の実施</td><td>71.25</td></tr> <tr> <td>外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動</td><td>80.00</td></tr> <tr> <td>横浜市内中学校における、地域や企業と連携したキャリア教育（＝自分づくり教育）の推進</td><td>74.75</td></tr> </tbody> </table> <p>詳細は、別紙（第7号様式）のとおり</p> <p>議題2：市民協働提案事業（行政によるテーマ設定型）試行実施の評価について【非公開】</p>	提案事業名	点数	Yokohama 'Pride' Circulation	65.50	特殊詐欺防犯啓発イベント「だまされないプロになろう！～横浜市全18区実施～」金沢区・港北区の実施	71.25	外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動	80.00	横浜市内中学校における、地域や企業と連携したキャリア教育（＝自分づくり教育）の推進	74.75
提案事業名	点数										
Yokohama 'Pride' Circulation	65.50										
特殊詐欺防犯啓発イベント「だまされないプロになろう！～横浜市全18区実施～」金沢区・港北区の実施	71.25										
外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動	80.00										
横浜市内中学校における、地域や企業と連携したキャリア教育（＝自分づくり教育）の推進	74.75										
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：審査にあたっての考え方</li> <li>・資料1-2：令和6年度 市民協働提案事業について（事業の流れ）【参考】</li> <li>・資料2：Yokohama 'Pride' Circulation（提案書）</li> <li>・資料3：Yokohama 'Pride' Circulation（プレゼンテーション資料）</li> <li>・資料4：特殊詐欺防犯啓発イベント「だまされないプロになろう！～横浜市全18区実施～」金沢区・港北区の実施（提案書）</li> <li>・資料5：特殊詐欺防犯啓発イベント「だまされないプロになろう！～横浜市全18区実施～」金沢区・港北区の実施（プレゼンテーション資料）</li> <li>・資料6：外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動（提案書）</li> <li>・資料7：外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動（プレゼンテーション資料）</li> <li>・資料8：横浜市内中学校における、地域や企業と連携したキャリア教育（＝自分づくり教育）の推進（提案書）</li> <li>・資料9：横浜市内中学校における、地域や企業と連携したキャリア教育（＝自分づくり教育）の推進（プレゼンテーション資料）</li> <li>・資料10：市民協働提案事業（行政によるテーマ設定型）試行実施の評価について</li> </ul>										
特記事項	なし										

市市協第12号  
令和7年4月17日

YPC ( Yokohama Pride Circulation) Project

代表団体 一般社団法人横浜竹林研究所 代表理事 小林隆志 様

横浜市長 山中 竹春

## 市民協働事業審査結果通知書

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	Yokohama 'Pride' Circulation	
提案者	YPC ( Yokohama Pride Circulation) Project	
採択の可否	採択	不採択
点数	65.50点	

審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。

### 《横浜市市民協働推進委員会の意見》

- ・楽しくワークショップに参加した人が作品の資材が消防のリサイクル品であること、そして地域には消防団としてがんばっている人がいることを知ることで、地域参加のきっかけになることを期待します。
- ・商品化されて沢山売れることで話題が広がり、横浜のこの事例が他の自治体にも真似されていく、こうした未来も起こりうるポテンシャルがあると思います。マニアもいると思うので、引き続き出口戦略（販売）についても強気で考えていくべきだと思います。
- ・リサイクルと防災意識の向上を目指すことは素晴らしいですが、ワークショップ時にわかりやすいストーリー展開が必要だと思います。

(第7号様式)

市市協第22号  
令和7年4月17日

表現のチカラ

代表 稲 友秀 様

横浜市長 山中 竹春

## 市民協働事業審査結果通知書

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	特殊詐欺防犯啓発イベント 「だまされないプロになろう！～横浜市全18区実施～」 金沢区・港北区の実施	
提案者	表現のチカラ	
採択の可否	採択	不採択
点数	71.25点	

審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。

### 《横浜市市民協働推進委員会の意見》

- ・特殊詐欺の防犯啓発はとても大事な取組だと思います。行政としても市民局だけではなく各区の区政推進課や地域振興課、高齢福祉課なども巻き込むといいと思います。町内会、自治会への働きかけは必須であり、企業との連携も考えてほしいです。
- ・地域社会における共助の良いモデルとなりうる可能性を感じています。是非地域のキーマンとつながって、大きな成功事例を作れるレベルがさらに上がり、応援者が増え、持続可能性も高まると思います。
- ・コンテンツとしては素晴らしいが、プロセスが迷走しているように感じます。担当部署の後方支援やコーディネートに期待します。

(第7号様式)

市市協第34号  
令和7年4月17日

NPO 法人Sharing Caring Culture

代表理事 三坂慶子 様

横浜市長 山中 竹春

## 市民協働事業審査結果通知書

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動	
提案者	NPO 法人Sharing Caring Culture	
採択の可否	採択	不採択
点数	80.00点	

審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。

### 《横浜市市民協働推進委員会の意見》

- ・初年度は「外国語のおはなし会」でスタート。外国人親子と地域をつなぐ活動へと発展してほしいと思います。行政の部局・区を横断し、協働して取り組むことを期待します。
- ・外国人親子がただ支援を受けるだけでなく、その地域で活躍できる機会が増えていくと、より良い生活を日本で送れるようになると思います。そのようなことを通じて、子ども達同士もお互いをリスクトしあえるような地域ができたらとても素敵だと思います。
- ・「母国語によるおはなし会」ということではあるけれど、外国籍家族の暮らしをサポートすることにつながる活動と感じました。各区によって居住されている外国人の国もタイプも異なり、大変だと思うので、行政のサポートをもっと入れて実施してほしいと思います。

(第7号様式)

市市協第35号  
令和7年4月17日

特定非営利活動法人アスリード  
理事 杉野瞳 様

横浜市長 山中 竹春

## 市民協働事業審査結果通知書

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	横浜市内中学校における、地域や企業と連携したキャリア教育（＝自分づくり教育）の推進	
提案者	特定非営利活動法人アスリード	
採択の可否	採択	不採択
点数	74.75点	

審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。

### 《横浜市市民協働推進委員会の意見》

- ・「自分づくり教育」プログラムがしっかりできていて、賛助会員の企業も多数ある。職業体験をどのように組みたてるか模索している学校も多くあると思うので、教育委員会がしっかりとつないでいっていただければと思います。
- ・なぜキャリア教育が今の子ども達に必要なのか、ということを解像度を上げてビジュアル化することがとても重要だと思います。学校の教育者としての目線だけでなく企業側の目線も混ぜながら言語化できると、質の高いものが出来上がり、他の模範となると思います。是非広げて下さい。
- ・すでに会の活動として実績を積んできていますが、市内の中学校は多く、それぞれの状況に特化したプログラムを作るだけでも大変かと思います。教育委員会との連携や役割分担について、先々の事業計画づくりを協力して作成できるとよいと思います。